

事業番号	12 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	会計事務運営管理費	部局	会計局	課・室	会計課				
		実施期間	S22 ~	E-mail	kaikai@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策									

1 現状と課題

会計事務は、法令に則った適正な処理が強く求められており、財務会計システムの運用による正確かつ効率的な出納事務、公金の適正な管理と安全性に配慮した運用に取り組んでいるが、執行機関の会計事務では、知識不足や人的作業ミスに起因する不適正な事案が、毎年発生している。
引き続き、職員の資質向上を図るため、研修・会計指導を実施しながら、県民に信頼される会計事務の適正な執行の確保に努めていく必要がある。

2 事業目的

県民に信頼される適正な会計・出納事務の実施に努めるとともに、公金の確実な管理と効率的な運用を図る。
（主な実施内容：会計審査・指導、決算事務、公金の出納・管理、財務会計システムの運用）

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①適正な会計事務

・法令に則った適正な処理となるよう、会計・支出審査の徹底に努める。

②研修・会計指導の実施

・職員の資質向上を図るため、研修・会計指導を実施し、県民に信頼される会計事務の適正な執行の確保に努める。

③財務会計システムの安定稼働

・財務会計システムの運用・保守、システム利用職員からの問い合わせに対して適切に対応し、システムの安定稼働に努める。

④財務会計システムの改修

・県の第三仮想化統合基盤への移行に伴うシステム改修を行う。



財務会計事務研修会

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	指標なし										

5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度		107,386		107,386	91,335	101,550	48.0
R3年度		55,718	7,100	62,818	46,325	57,757	49.0
R2年度		69,900	1,267	71,167	54,472	67,613	49.0

事業番号	12 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	会計事務運営管理費		部局	会計局	課・室	会計課		

6 主な取組実績と成果

①適正な会計事務

・適正な契約、支出を確保するため、財務規則に基づき、支出負担行為の事前審査や確認、支出命令の審査を行った。
支出負担行為の事前審査9,683件、支出命令の審査151,199件

②研修・会計指導の実施

・県民から負託を受けた行政の出納機関として執行機関が会計事務を的確に行っているかチェックするとともに、各種研修会や会計指導等を通して職員の業務に対する意識変革を図り、限られた財源で最大の効果を上げるよう努めた。
新任会計事務担当者研修（10地区）158人、出納員会議（10地区）184機関、財務会計事務専門研修（Web）163人、会計センターにおける相談指導件数569件、会計実地検査件数95機関

③財務会計システムの安定稼働

・適切なシステム保守の実施により、システム障害が全く起こることなく、安定した稼働が行えた。また、利用職員からのシステム操作等の問い合わせに対応し、システムの適切な運用につなげることができた。

④財務会計システムの改修

・県の第三仮想化統合基盤の更新に伴い、財務会計システムの改修及びデータ移行について、適切に実施することができた。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	指標なし	R3年度推移	R4年度推移	達成状況

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

執行機関の会計事務において、会計事務に関する知識不足や人的作業ミスに起因する、不適正な事案が発生している。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

引き続き、職員の資質向上を図るため、年度当初の新任会計事務担当者研修や全単独現地機関への会計実地検査など、研修・会計指導を実施しながら、県民に信頼される会計事務の適正な執行の確保に努めていく。

事業番号	12 01 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	会計事務運営管理費		部局	会計局	課・室	会計課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	会計事務運営管理費		67,613 千円	57,757 千円	101,550 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	会計審査	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・予算執行者からの支出命令を審査（支出負担行為の確認を含む）し、必要に応じて改善指導を実施 ・財務規則に定められた経費についての事前審査 支出命令審査約15万件実施 支出負担行為の事前審査約1万件実施		
2	会計指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・会計相談、各種研修、単独現地機関に対する会計実地検査等 新任会計事務担当者研修（10地区）財務会計事務専門研修（Web） 出納員会議（10地区）		
3	決算事務	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・決算見込、決算概要、決算書作成等 決算書作成（125箇所、282冊配布）		
4	公金の出納・管理	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・歳計現金出納簿の整理と口座残高の照合 ・資金計画の検討と余裕資金の運用 ・支払額の確認と支払データ作成、資金決済 照合件数292件、運用回数25回、資金決済件数380件		
5	財務会計システムの運用	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・安定稼働と運用計画に沿った処理の確保 ・システムのデータ管理、入力職員の支援 ・第三仮想化統合基盤への移行に伴うシステム改修 障害発生件数0件、データ修正件数20件		